

50<sup>th</sup>

令和5年度11月号 [11月15日(発行)]

校訓 自主・協同・創造



# 岸川中だより

川口市立岸川中学校  
 川口市安行領根岸374番地の1  
 TEL268-4506 FAX268-4761  
 特別支援学級 TEL268-7110  
 さわやか相談室TEL268-4510  
<https://kishikawa.official.jp>

深刻化する人口問題をどう考える？より、そもそも感じている？

校長 松田 隆幸

危険なピンチがあぶないんですよ。こんな書き出しは、学校だよりとしてどうなのか？と思いますが、いよいよ問題が表面化してきたのではないのでしょうか？昔の先生が最も悩むシーンといえば、いくら言ってもわからない子。でも、分かるまで、じっくりその生徒に向き合って、、、なんていう時間が昔はあった。個別に指導することができた。今では、いくら言っても「感じない子」への指導が難しいところです。分らせる方がまだいいかもしれない。感じさせるには、途方もない時間を要する。いや、時間をかければ解決できるか？答えはわからない。感じない→感じるへの変容のさせ方は、痛みだったり、快樂であったり、苦悩だったり・そもそもの感じ方の種類とか、その表現の種類とかが、ふんだんに用意されなければ難しいことでしょう。

で、ここでの話は人口問題へ。2025年問題・2030年問題・2040年問題・・・どれも、ググると出てくる地球規模の大問題。2025年。4人に一人(25%)が75歳以上の後期高齢者。人口の年齢別比率の劇的変化。社会構造を維持しにくくなる。中でも医療・福祉分野が厳しくなるのでは？2030年問題。国内人口の30%が高齢者。労働力不足・経済成長の鈍化。2025年問題で顕著になった問題の解決がままならず、さらに深刻化する。644万人の労働力が不足する。2040年問題人口減少と高齢人口がピーク。社会保障の増額・労働人口不足・インフラの老朽化。2025年に60歳の方は2040年には75歳となり、後期高齢者となる。そんな結果をググって、知ることができました。問題はここから。知ったのはいいけど、この問題を どう感じたかが問題。

そんな2040年ってどのようになっていくのか？学校が統廃合されるではないか？先生の授業のスタイルも今とは全く違うスタイルが登場することでしょう。現に、本校でも、一切「紙」を使わない授業が展開されています。ノートも各生徒の判断で、GIGA端末に記録するもよし、ノートに書いてもよし、、、。黒板が教室からなくなっている市もあります。プロジェクターによる投影資料が活用されています。部活動も今とは全然違うものになっているかもしれません。なにせ、生徒数が減れば、先生の数も減る。部活動も数を減らさなければ立ち行かない。他校と一緒に合同部活動もその一手かもしれません。R6の入学生が高校受験の時には、部活動の大会等の結果を書く欄が調査所からなくなり、代わりにエントリーシートのようなものが使われるそうです。もうすぐ、目と鼻の先。

岸川中学校は、今月24日にめでたく創立50周年記念式典を挙げる運びになりました。めでたい限りであります。が、誰かに言わせれば、ポーっと生きてんじゃねーよ！といわれそうだが、まずは、危機を感じ、できることを行い、手を打っていかねばないと感じているところです。めでたい記念日を間近に控え、周囲を見渡せば、そうそうに笑顔でいられないと「感じている」次第です。

11月24日は創立50周年記念式典&合唱コンクール

2023 Kishikawa.J.H.S 50<sup>th</sup> ANNIVERSARY

